



**WIN A BETTER QUALITY OF LIFE**  
INNOVATION  
PARTNERSHIP  
TRUST

**SAFETY**  
CREATE VALUE

**LEADERSHIP**  
HEALTHY SOCIETY

# 2017年3月期 決算説明資料

ウイン・パートナーズ株式会社 (3183)  
代表取締役社長 秋沢 英海



WINはQOL推進企業です

# 2017年3月期 決算概要

---

# 2017年3月期実績

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比	期初計画
売上高	54,147	<b>57,760</b>	+6.7%	56,600
営業利益	2,965	<b>3,058</b>	+3.1%	3,000
経常利益	2,978	<b>3,061</b>	+2.8%	3,000
当期純利益	2,111	<b>2,141</b>	+1.4%	2,050
1株当たり当期純利益(円)※	73.56	<b>74.58</b>	—	71.41
1株当たり純資産(円)※	485.15	<b>539.69</b>	—	—

※2017年1月1日実施の1：2の株式分割後

# 主な取り組み

## ◆ 償還価格改定に伴う価格交渉

---

妥結率: 1Q:60% → 2Q:90% → 3Q:96%

## ◆ 新規顧客開拓

---

第2四半期から数施設と取引開始(CRS)

## ◆ 成長分野の体制強化

---

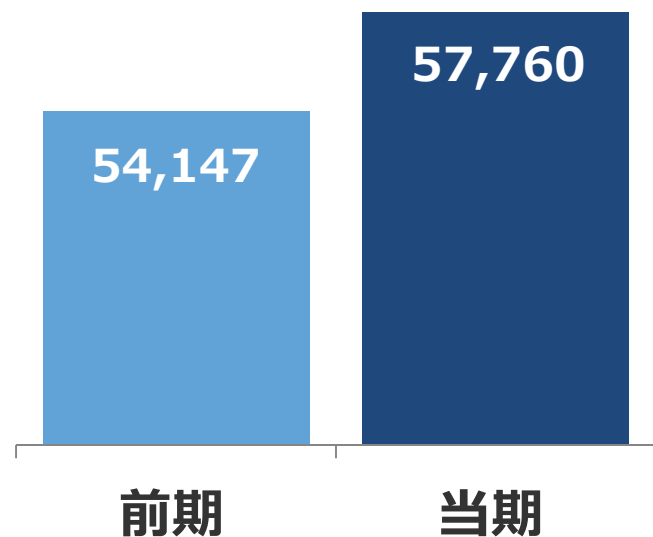
CRS増員、アブレーションチームによる施設支援

# 決算のポイント

売上高 <sup>前期比</sup> + 6.7% ( <sup>計画比</sup> + 2.1% )

---

(単位：百万円)



**償還価格下落の影響(▲5%)  
を数量増で吸収**

新規獲得施設の寄与等

**分類別では  
CRSと大型機器が好調**

# 分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	前年同期比 (%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率 (%)	増減 (pt)
虚血性心疾患関連 (PCI)	21,521	+5.6	▲4.9	37.3	▲4.5
心臓律動管理関連 (CRS)	13,539	+21.2	+19.0	23.4	+2.4
心臓血管外科関連 (CVS)	6,671	▲3.0	+0.1	11.6	▲0.8
末梢血管疾患関連 (PPI)	2,850	+13.2	+1.7	4.9	▲0.2
脳外科関連	1,969	+0.7	+3.4	3.4	▲0.1
糖尿病関連 (DMS)	953	-	+23.2	1.6	+0.2
大型医療機器関連	5,257	-	+57.9	9.1	+3.0
その他	4,997	-	+6.9	8.7	+0.0
合計	57,760	-	+6.7	100.0	

# 分類別売上高ハイライト(対前期)

**PCI** 償還価格下落の影響(▲8.7%)を数量増でカバーできず減収

---

**CRS** 償還価格下落(▲3.4%)をICD、CRT-Dの数量増で吸収  
特に冷凍アブレーション等のEP・アブレーション関連は30%増収

---

**CVS** 償還価格下落(▲2%)及びステントグラフトや開心術関連製品の数量減をTAVI関連でカバー

---

**PPI** 償還価格下落(▲3.7%)及び末梢ステントの数量減をPTA/バルーン  
の数量増で吸収

---

**大型医療  
機器関連** 消費税増税の影響がほぼ一巡し、大型案件が増加

---

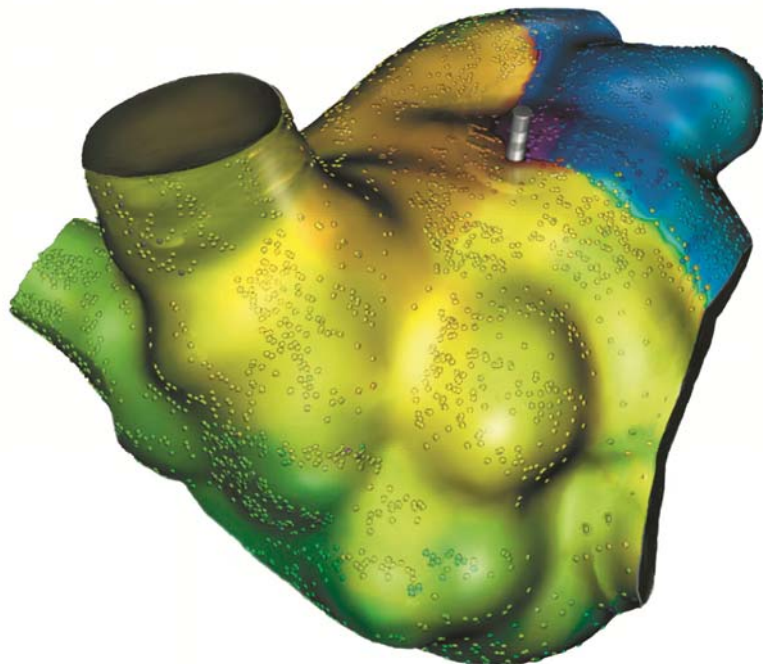
# CRSハイライト

アブレーション治療(心房細動等)が急拡大

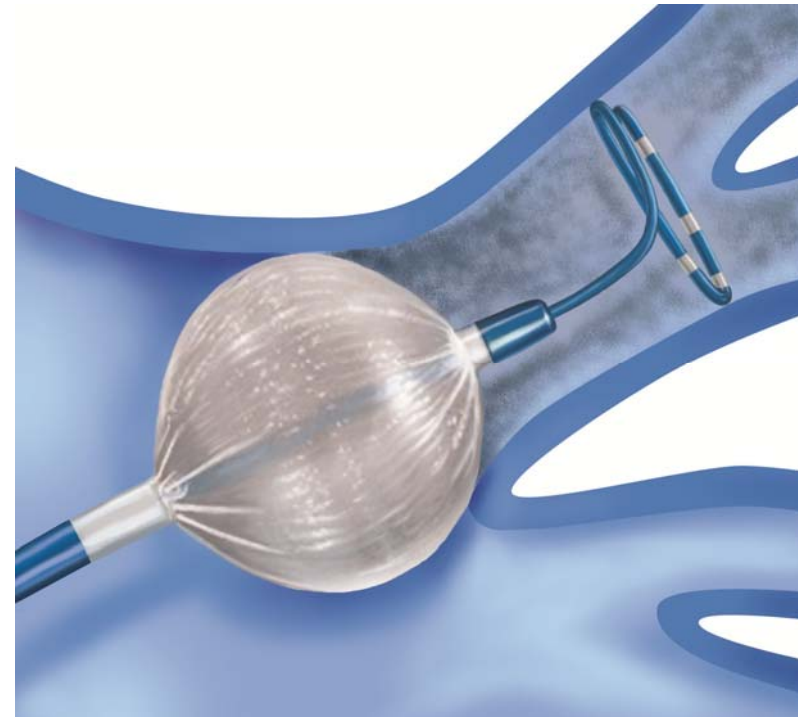
---

新製品の登場で検査・治療精度が向上 → 症例数増加

**診断** 3次元画像システム

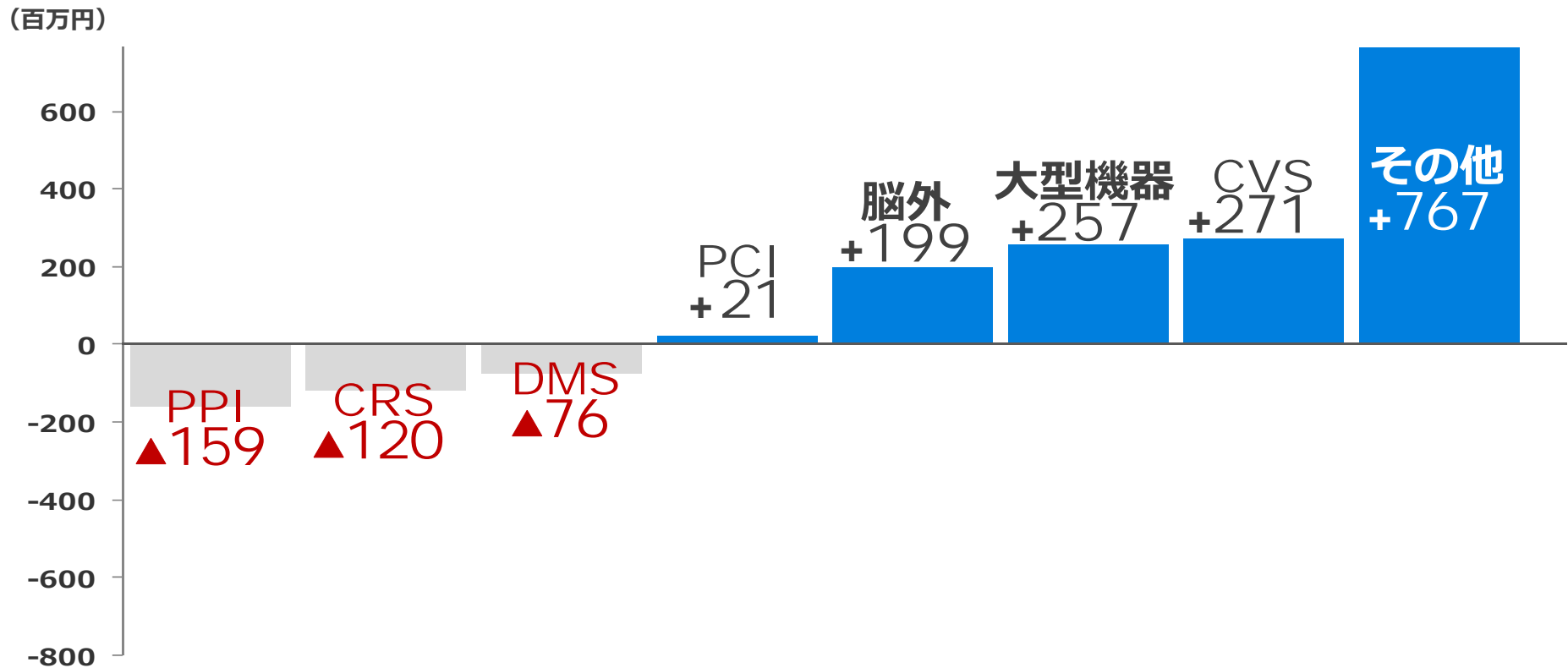


**治療** 冷凍バルーンカテーテル





# 分類別売上高ハイライト(対計画)



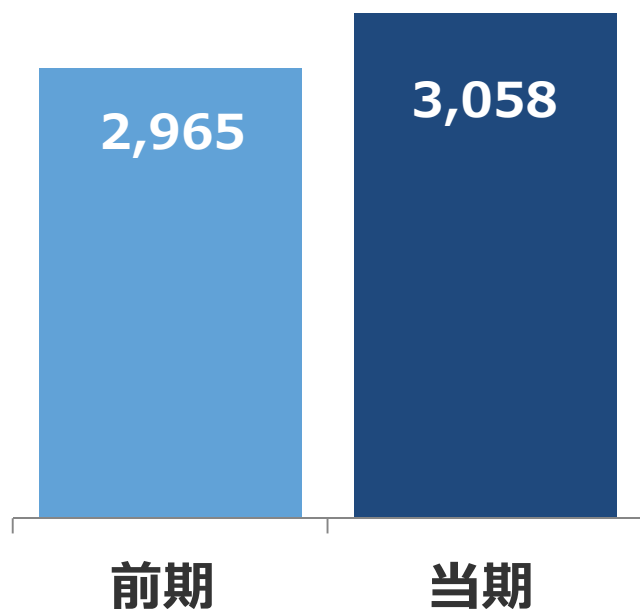
- **PPI:** 既存施設の症例数未達
- **CRS:** 好調も中間期の修正計画は未達

- **脳外:** 既存施設の症例数増加
- **大型機器:** 大型案件獲得
- **CVS:** TAVIの症例数増加
- **その他:** 消化器関連製品や小型機器等の伸長

# 決算のポイント

営業利益 <sup>前期比</sup> + 3.1% <sup>計画比</sup> (+ 1.9%)

(単位：百万円)



売上総利益率 0.3pt 悪化

- ・ PCIの減収によるミックスの悪化を下期リベートプログラム等でカバーできず
- ・ 価格下落の影響は仕入価格にほぼ転嫁

販売管理費 +4.5%

うち人件費は +5.8%

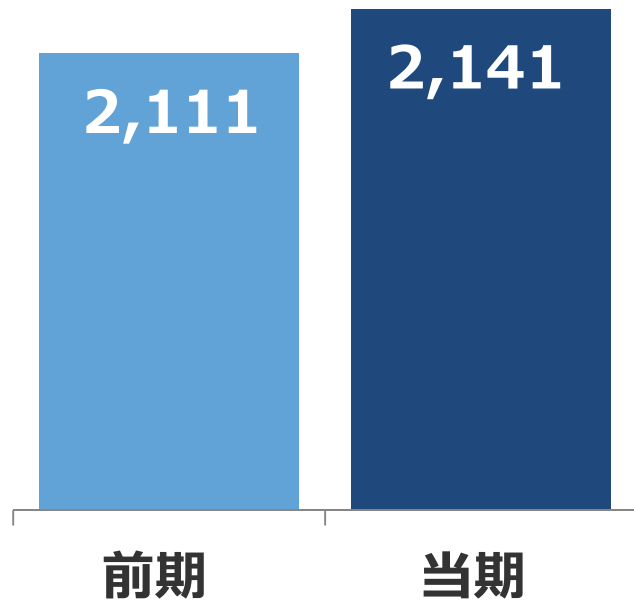
〔人員数〕前期末 422名 → 当期末 447名

# 決算のポイント

当期純利益 <sup>前期比</sup> + **1.4%** <sup>計画比</sup> (+4.4%)

---

(単位：百万円)



前期の特別利益計上の反動で  
ほぼ横ばい

# 連結損益計算書

	前期		当期	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
<b>売上高</b>	<b>54,147</b>	<b>100.0</b>	<b>57,760</b>	<b>100.0</b>
売上原価	46,882	86.6	50,208	86.9
<b>売上総利益</b>	<b>7,264</b>	<b>13.4</b>	<b>7,551</b>	<b>13.1</b>
販売管理費	4,299	7.9	4,493	7.8
<b>営業利益</b>	<b>2,965</b>	<b>5.5</b>	<b>3,058</b>	<b>5.3</b>
営業外収益	13	0.0	4	0.0
営業外費用	0	0.0	0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>2,978</b>	<b>5.5</b>	<b>3,061</b>	<b>5.3</b>
特別利益	294	0.5	6	0.0
特別損失	182	0.3	0	0.0
<b>税 前 利 益</b>	<b>3,090</b>	<b>5.7</b>	<b>3,067</b>	<b>5.3</b>
税金費用	978	1.8	926	1.6
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>2,111</b>	<b>3.9</b>	<b>2,141</b>	<b>3.7</b>

# 連結貸借対照表

	2016年3月末		2017年3月末		増減 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
<b>流動資産</b>	<b>26,624</b>	90.2	<b>30,395</b>	<b>91.6</b>	<b>3,770</b>
現金・預金	9,285	31.5	11,954	36.0	2,669
売上債権	15,137	51.3	15,597	47.0	460
商品	1,475	5.0	1,862	5.6	386
その他流動資産	725	2.5	980	3.0	254
<b>固定資産</b>	<b>2,891</b>	9.8	<b>2,792</b>	<b>8.4</b>	<b>▲98</b>
<b>資産合計</b>	<b>29,515</b>	100.0	<b>33,187</b>	<b>100.0</b>	<b>3,672</b>
<b>流動負債</b>	<b>14,903</b>	50.5	<b>16,964</b>	<b>51.1</b>	<b>2,061</b>
仕入債務	13,477	45.7	15,765	47.5	2,288
未払法人税等	604	2.0	486	1.5	▲118
その他流動負債	821	2.8	712	2.1	▲108
<b>固定負債</b>	<b>684</b>	2.3	<b>729</b>	<b>2.2</b>	<b>45</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,587</b>	52.8	<b>17,694</b>	<b>53.3</b>	<b>2,106</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,927</b>	47.2	<b>15,493</b>	<b>46.7</b>	<b>1,565</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>29,515</b>	100.0	<b>33,187</b>	<b>100.0</b>	<b>3,672</b>

一括買取  
の増加

大型機器の  
仕入増加

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,294</b>	<b>3,386</b>
税金等調整前当期純利益	3,090	3,067
減価償却費	276	249
投資有価証券売損益（▲は益）	▲200	-
保険解約返戻金	▲93	-
退職給付費用	159	-
売上債権の増減額（▲は増加）	▲624	▲460
たな卸資産の増減額（▲は増加）	636	▲378
仕入債務の増減額（▲は減少）	▲293	2,278
法人税等の支払額	▲952	▲1,217
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>298</b>	<b>▲128</b>
有形固定資産の取得による支出	▲235	▲126
固定資産の売却による収入	93	20
投資有価証券の売却による収入	381	-
保険積立金の解約による収入	106	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲545</b>	<b>▲588</b>
配当金の支払額	▲545	▲588
<b>現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）</b>	<b>2,047</b>	<b>2,669</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>7,238</b>	<b>9,285</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>9,285</b>	<b>11,954</b>

# 今後の見通し

---

# 医療供給体制の課題

## ① 医療費の抑制

---

**長期:** 病床機能の分化促進

**短期:** 2018年診療・介護報酬同時改定以降、毎年改定の可能性

## ② 医師の偏在

---

地域の偏在

診療科目の偏在



# 医師の偏在

---



(出典: 厚生労働省 (医師数2014年12月)、日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT認定医、専門医2016年)、日本不整脈心電学会 (不整脈専門医 2017年4月))

# 顧客の状況

---

- ① PCI・CRS・CVSのバランスがとれた顧客病院が成長
- ② 病院機能の強化・転換の検討開始

# 今期の重点施策

---

## 増患・増症例支援の強化

### 顧客病院の マルチ・スペシャリティ化を支援

- ①他科への進出提案: 循環器内科 ⇒ 心臓外科
- ②治療領域の拡大提案: 心臓カテーテル ⇒ 不整脈
- ③医療施設間連携サポート: 患者および医師紹介
- ④医師の研修サポート: 国内およびインド

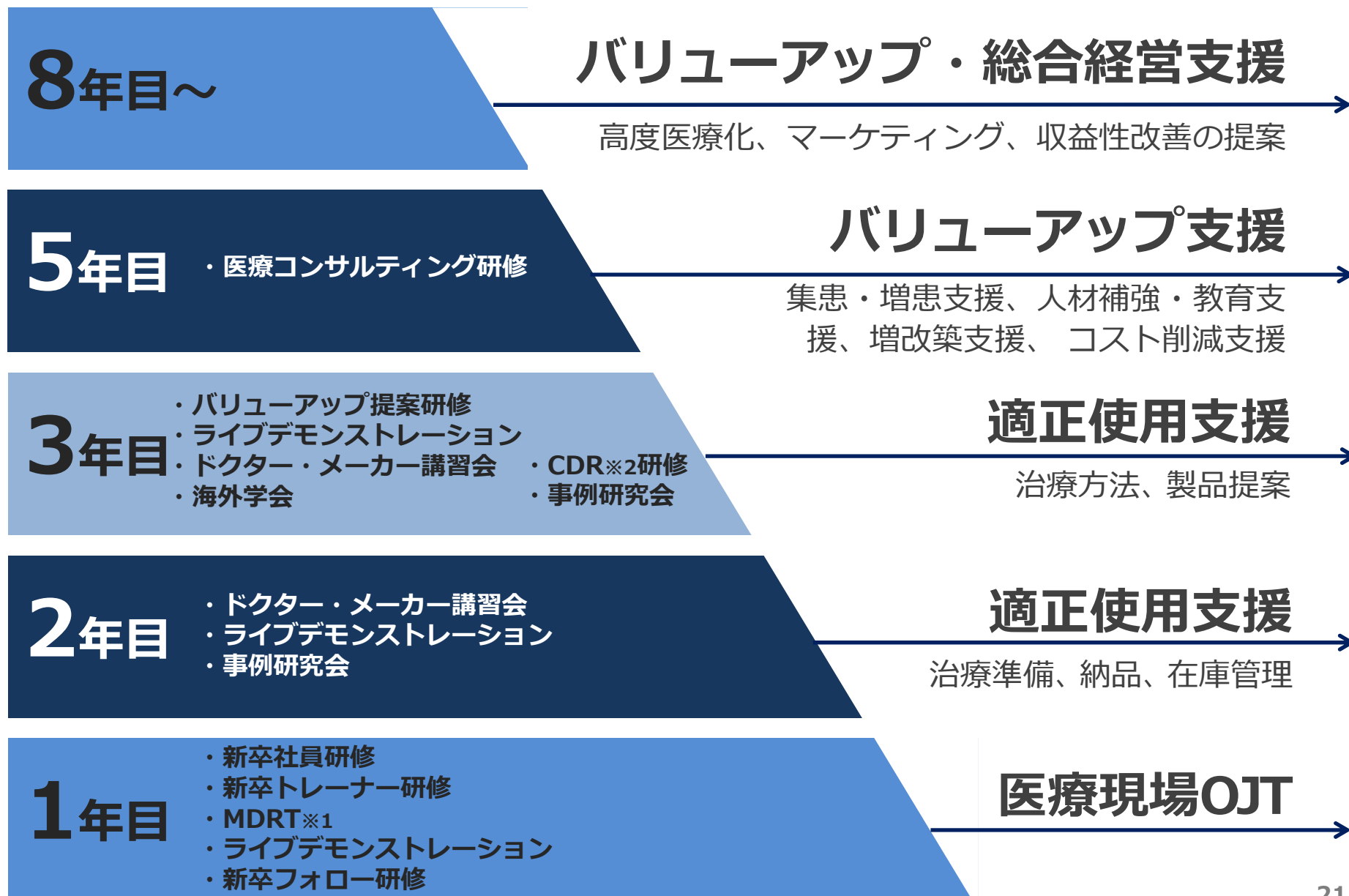
# 営業体制の強化

---

## マルチ・スペシャリティ化に対応

- ① セクション別担当(PCI・CVS) ➡ 施設別に再編  
顧客のマルチ・スペシャリティ化を総合的に支援
  
- ② 営業統括本部 人員増強  
診療圏調査に基づく集患提案や戦略的購買など、営業活動支援および社員教育の強化
  
- ③ 営業所業務の集約化  
本社移転 ➡ 日本社ビルに各営業拠点の業務を集約

# 成長を支える営業員育成プログラム



※1 MDRT : Medical Device Representative Training    ※2 CDR: Cardiac Device Representative (日本不整脈学会認定資格)

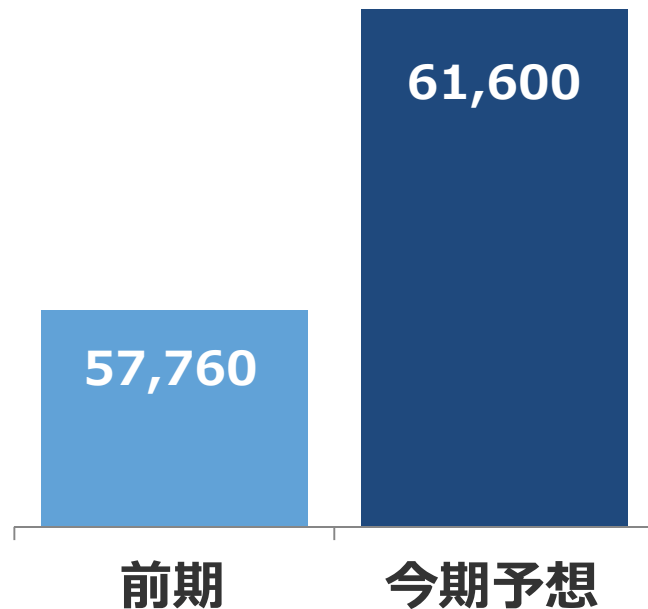
# 2018年3月期 通期予想

2018年3月期		金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)	
売	上	高	61,600	100.0	+6.6
営	業	利	3,250	5.3	+6.3
経	常	利	3,250	5.3	+6.1
当	期	純	2,230	3.6	+4.2
1株当たり当期純利益(円)		77.68			
1株当たり配当金 (円)		27.00			

# 業績予想のポイント

売上高 <sup>前期比</sup> +6.6%

(単位：百万円)



## 既存顧客の深耕

- ・ マルチスペシャリティ化支援の提供

## 新規顧客の獲得

- ・ 大学病院
- ・ 地域中核病院
- ・ 糖尿病関連施設

# 分類別売上高見通し

(単位：百万円)

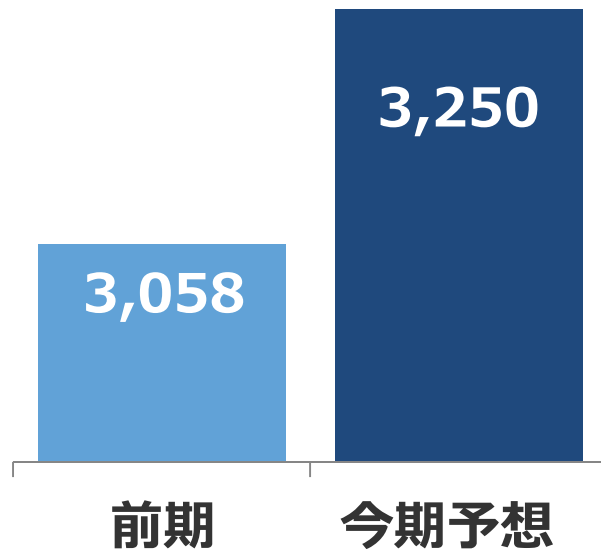
	金額	前期比	構成比
虚血性心疾患関連 (PCI)	23,960	+11.3%	38.9%
心臓律動管理関連 (CRS)	15,130	+11.7%	24.6%
心臓血管外科関連 (CVS)	7,380	+10.6%	12.0%
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,120	+9.5%	5.1%
脳外科関連	1,970	+0.0%	3.2%
糖尿病関連 (DMS)	1,070	+12.3%	1.7%
大型機器関連	4,770	▲9.3%	7.7%
その他	4,200	▲16.0%	6.8%
合計	61,600	+6.6%	100.0%



# 業績予想のポイント

営業利益 前期比 **+6.3%**

(単位：百万円)



売上総利益率 **13.2%** (前期比 **+0.1pt**)

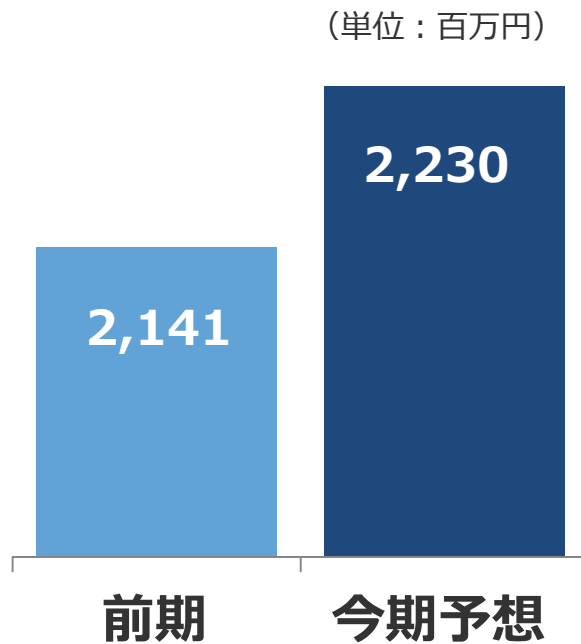
- ・主に売上ミックスの改善

販売管理費 前期比 **+8.4%**

- ・人員計画 前期末 **447**名 ⇒ **491**名

# 業績予想のポイント

当期純利益 前期比 **+4.2%**



設備投資 **1.0億円**  
(前期実績 **1.4億円**)

減価償却費 **2.4億円**  
(前期実績 **2.5億円**)

# 配当方針

業績、経営基盤の強化および  
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら

配当性向 **30%** 以上を目指します

**2018年3月期 配当金予想**

**期末 27 円**

# 株価推移



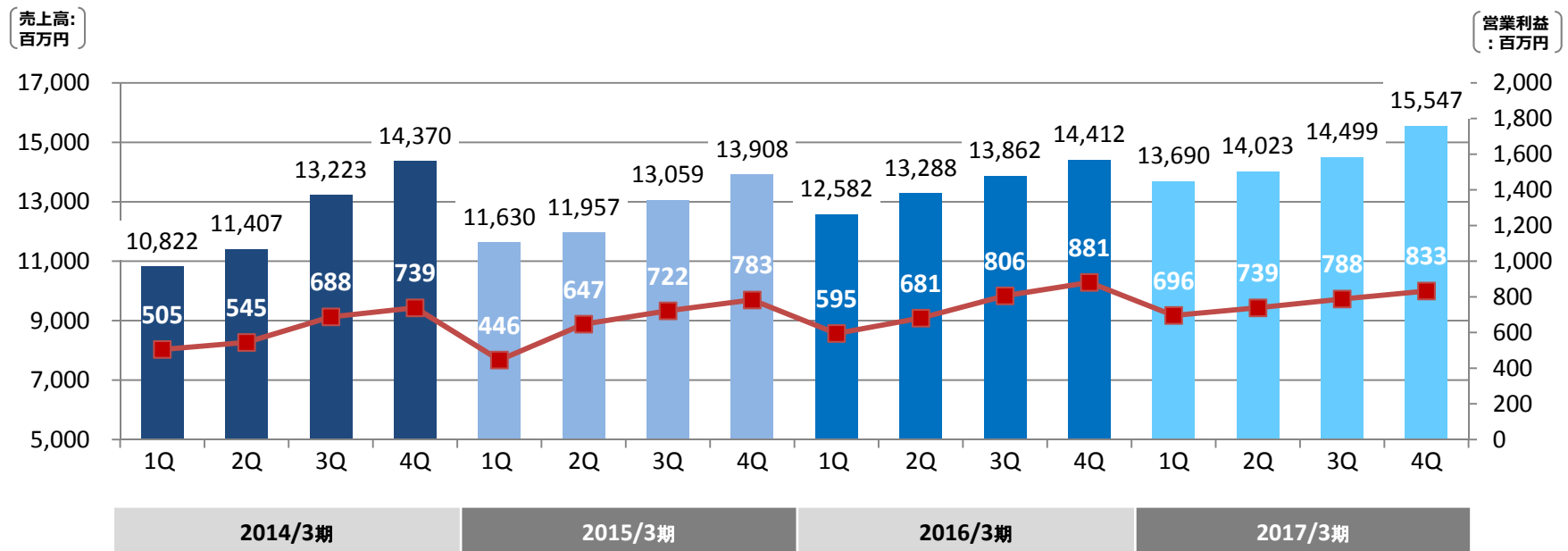
# (参考) 主要取扱製品

分類	主な疾患	主な医療機器			
<b>PCI</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭心症</li> <li>・心筋梗塞</li> </ul>	PTCAバルーンカテーテル	薬剤溶出型ステント (DES)	血管内超音波診断カテーテル (IVUS)	
					
<b>CRS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不整脈</li> </ul>	ペースメーカ	植込型除細動器 (ICD)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD)	心筋焼灼術用カテーテル
					
<b>CVS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大動脈瘤</li> <li>・大動脈弁狭窄症</li> </ul>	ステントグラフト	経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)用生体弁	機械弁	
					
<b>PPI 脳外科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢閉鎖性動脈硬化症</li> </ul>	末梢血管用ステント	頸動脈用ステント	塞栓用コイル	
					
<b>DMS 大型医療機器</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病</li> <li>・検査</li> </ul>	インスリンポンプ	移動式X線撮影装置	磁気共鳴画像診断装置 (MRI)	
					

# (参考) 四半期業績推移

■ 売上高  
■ 営業利益

## 売上高／営業利益の推移(四半期)



■ = 償還改定期



## ロゴマークについて

---

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」  
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。  
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、  
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、2017年5月24日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先  
ウイン・パートナーズ株式会社 社長室  
TEL : 03-3548-0790 FAX : 03-3548-0791  
HP : <http://www.win-partners.co.jp>